さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1

「さわら池の伝説」とはどういう伝説ですか。記事から抜き書きしてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

さわら池の伝説 紙芝居に

甘利山保護団体 読み聞かせに活用

NPO法人甘利山倶楽部が作った紙芝居＝韮崎市内

甘利山の自然保護に取り組む韮崎市のNPO法人「甘利山倶楽部」は、甘利山の中腹にある「さわら池」にまつわる伝説をテーマにした紙芝居を作った。地元の小学生への読み聞かせなどに活用していて、住民団体への貸し出しも検討している。

甘利山倶楽部によると、紙芝居「さわら池のお話」は縦50センチ、横75センチの絵と写真計9枚で構成。甘利地区周辺を治めていた領主の子どもたちが大蛇に池に引き込まれた際、住民が協力して大蛇を退治し、褒美として甘利山が与えられたという伝説を取り上げている。このほか、甘利山の山頂周辺に咲くレンゲツツジを写真付きで紹介。山から引いた水が生活用水として役立てられていることも解説している。

甘利山倶楽部は毎年春と秋に甘利小児童を甘利山に案内している。紙芝居はさらに甘利山に興味を持ってもらおうと3月ごろに製作を始め、7月に完成した。下絵は市在住の元漫画家鈴木なるみさんが担当し、韮崎高美術部の生徒が色鉛筆で仕上げた。

既に甘利小の児童を対象とした読み聞かせを始めていて、今後は地域住民らへの貸し出しも行っていく考えという。甘利山倶楽部の事務局を務める小林美珠さん(70)は「韮崎市のシンボルの一つである甘利山の魅力を分かりやすく伝えていきたい」と話している。

（2021 年 8 月 20 日付 山梨日日新聞 22 面）

問2

NPO法人「甘利山倶楽部」は、どんな目的で紙芝居を作ったのですか。

.....

問3

紙芝居の下絵はⒶが担当し、Ⓑが色鉛筆で仕上げました。Ⓐ、Ⓑに入る人名などは何ですか。

Ⓐ「　　」　　Ⓑ「　　」

※あなたが住んでいる地域には、どんな伝説や言い伝えがありますか。お年寄りらに聞いてみましょう。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.